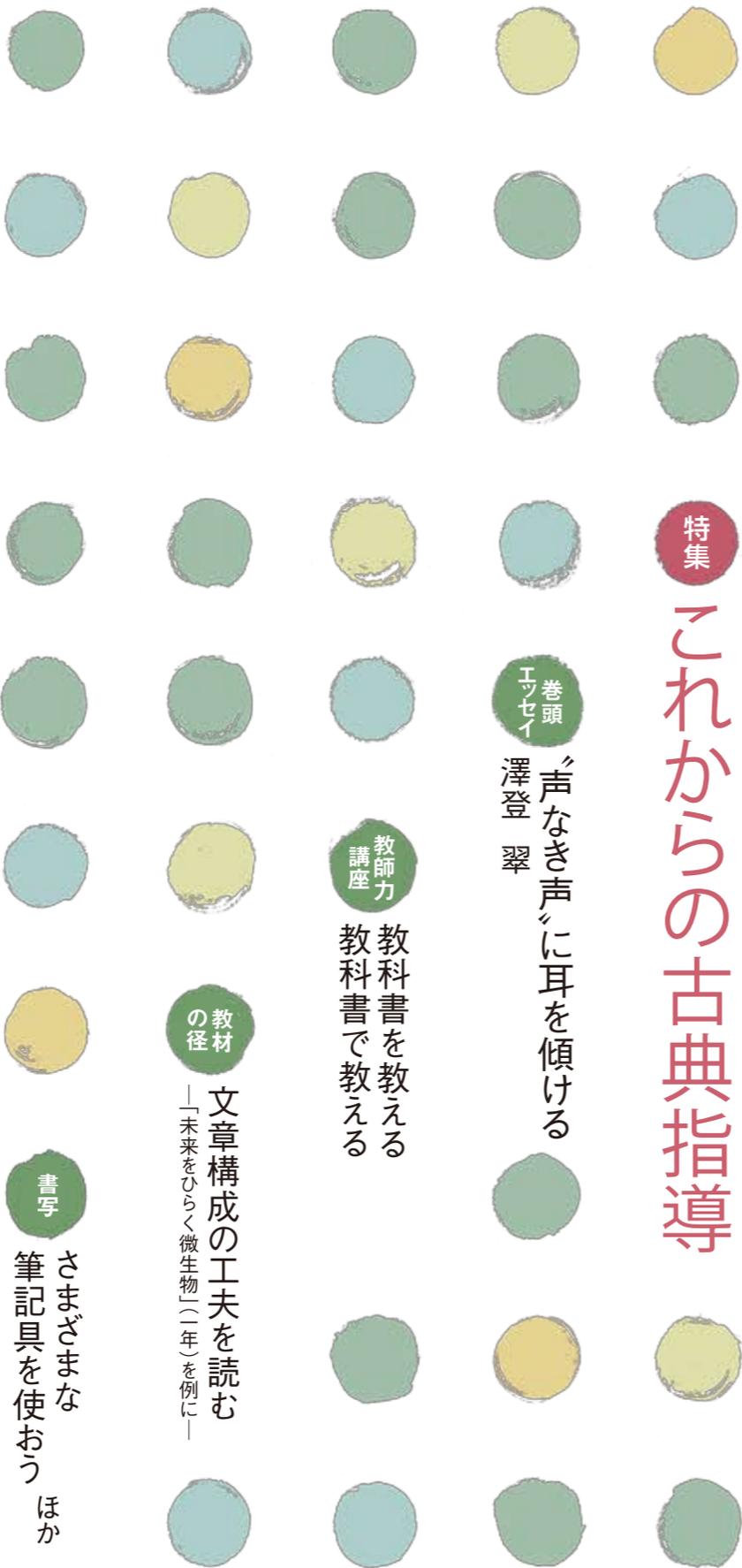


国語教育相談室

中学校
no. 59

光村図書



特集 これからの古典指導

巻頭
エッセイ
澤登 翠
声なき声に耳を傾ける

教師力
講座
教科書を教える
教科書で教える

教材
の径
文章構成の工夫を読む
「未来をひらく微生物(二年)を例に」

書写
さまざま
筆記具を使おう
ほか

光村ライブラリー 全18巻



教科書の名作
リターンズ!!

光村の「国語」が育んできたもの、そのすべてをいまここに。

- 昭和46年から平成12年までの教科書から精選。
- 教科書収録時の学年に基づき、低・中・高学年別に編集。
- 学年の配当漢字にふりがなを付け、読みやすさに配慮。



各巻の内容

低学年	中学年	高学年
1巻 花いつばいになあれ チックとタック ほか3作	6巻 太郎こおろぎ ほか5作 7巻 つり橋わたれ ほか3作	12巻 野ぼら ほか5作 13巻 雨子 ほか3作
2巻 空いろのたね ほか3作	8巻 小さき青い馬 ほか3作	14巻 木龍うろし ほか4作
3巻 小さい白いことり ほか3作	9巻 手ぶくろを買いに ほか3作	15巻 ガラスの小びん ほか4作
4巻 くまの子ウーフ ほか3作	10巻 空飛ぶライオン ほか4作	16巻 田中正造 ほか5作
5巻 からすの学校 ほか7作	11巻 ニホンザルのなかまたち ほか5作	17巻 「わたし」とはだれか ほか5作
	18巻 おさるがふねをかきました ほか30編	

セット定価 18,900円(本体18,000円)⑤ 各巻定価 1,050円(本体1,000円)⑤
菊判上製 各巻平均80ページ 監修: 榊島忠夫/宮地裕/渡辺実
セットISBN 978-4-89528-117-1 セットでお買い上げの場合には、かわいい化粧ケース入り。



光村ライブラリー 中学校編 全5巻

はじめてなのになつかしい...

- 全5巻—文学(3巻)・説明文(1巻)・詩(1巻)
- 読みの抵抗が少ない—常用漢字は、すべてルビ付き。

各巻の内容

1巻 赤い実(井上靖) ほか6作
2巻 車掌の本分(かんべむさし) ほか5作
3巻 最後の一句(森鷗外) ほか5作
4巻 フンダカバチの秘密 (H=フェアブル) ほか9作
5巻 朝のりレー(谷川俊太郎) ほか41編

セット定価 5,250円(本体5,000円)⑤ 各巻定価 1,050円(本体1,000円)⑤
A5判上製 各巻平均120ページ
セットISBN 978-4-89528-374-8
セットでお買い上げの場合には、かわいい化粧ケース入り。



光村図書 中学校 国語教育相談室 通巻No.128 2009(平成21)年9月1日発行 定価126円(税込)
発行人=常田 寛 発行所=光村図書出版株式会社 東京都品川区上大崎2-19-9 〒141-8675 電話 03-3493-2111
http://www.mitsumura-tosho.co.jp E-mail:koho@mitsumura-tosho.co.jp
印刷所=村田印刷工業株式会社 デザイン=mint grafix

個人情報の取り扱いに関しては、弊社「個人情報保護方針」に則り、適切な管理・保護に努めてまいります。くわしくは、光村図書ホームページ「光村チャンネル」をご覧ください。
http://www.mitsumura-tosho.co.jp 広報誌の配送停止をご希望の方は、光村図書広報部までご連絡ください。

1/2で割る

京都教育大学教授
森山卓郎

スタジオジブリの作品に『おもひでぽろぽろ』というアニメ映画がある。タエ子という首都圏住まいの若い女性が、田舎で小学校時代の自分を思い出しつつ夏の休暇を過ごす。その中で、小学校の算数で「分数で割る」ことがわからなかった、といったことを思い出して話す場面がある。

たしかに、分数というのがそもそも「割った」数なんだから、分数で割るなんていうと頭がこんがらがってくる。二分の一で割ったら倍になるといってもわかりにくい。考えてみると「かける」だってわかったようにわかりにくい。そこで、「かける」「わる」という「言葉」から、算数を考えてみよう。

て掘るとニメートル進む。同じように三日かけて掘ったらどれだけできるか」のように考えると「トバと計算がつながる。「ニメートル分の仕事に三日かける」のイメージだと「2×3」という計算がわかりやすくなる。

では、「わる」はどうだろう。これも「割る」のイメージを使うとわかりやすい。皿やガラスはだめだが、区切りの入った板チョコを「割る」イメージだ。例えば、十個に区切られた板チョコを一人二個ずつになるよう、割るわけだ。「十個分の板チョコ」を二個ずつになるように割ると何人分になるかが「十個割る二個」で、めでたく五人が分け前にあずかるといふ計算になる。「割る二分の一」もこのパターンならわかりやすい。「二分の一、つまり、

半分で割る」ということは、「一人半分個ずつになるように分ける」ということ。すなわち、皆「半分でいいよ」となるわけだから、もろえる人の数は倍になる。どうや、タエちゃん。

どんな数でもゼロでは割れないという「こと」も「0個ずつ」ならそもそも分けることが成立しない、ということでもイメージできそう。ただ、「要らないならおれがもらう」とか「次にとっておこう」などとけちくさいことを考えると、ちよつとこんがらがってくるのだが。

「言語活動の充実」ということが言われている。どんな教科でも、考え方や感じ方を話し合ったり、言葉で理解を深めたりすることは大切だ。国語はその意味で基盤の教科だ。子どものタエちゃん、国語もがんばってね。

CONTENTS

探検! 言葉の森 8 $\frac{1}{2}$ で割る _____ 森山卓郎

巻頭エッセイ 言葉と向き合う 02 “声なき声”に耳を傾ける _____ 澤登 翠

特集 04 これからの古典指導 ～生徒の興味・関心を高めるヒント～

インタビュー 新しい学習指導要領における古典 _____ 田中洋一

実践提案1 登場人物になりきって心情を語る —「扇の的」(二年)—

実践提案2 古典と現代のものの見方・考え方を比べ、
季節のエッセイを書く —「枕草子」(二年)—
_____ 新しい指導を考える会

教師力講座 7 14 教科書を教える 教科書で教える _____ 甲斐利恵子

教材の径 7 18 文章構成の工夫を読む—「未来をひらく微生物」(一年)を例に— _____ 松野洋人

これからの書写指導 5 20 さまざまな筆記具を使おう _____ 住川英明

新しい書写実践の試み 11 22 意欲的に楽しく取り組む硬筆指導の実際 _____ 澤井美由貴

「声なき声」に 耳を傾ける

活動写真弁士 澤登 翠

「活動写真弁士」をご存知ですか。無声映画の上映中、場面に合わせて登場人物のせりふやナレーションを語る人のことです。その語りのことを「活弁」といったりもします。

無声映画にはどこどころに字幕がついており、弁士は、この字幕と字幕の間のせりふやナレーションの台本を自分たちで工夫して書き、語っています。作品の本質を理解し、いかにおもしろい台本を書くかが弁士の腕の見せどころです。そのためには映画を繰り返し見て、映画の内容をつかまなくてはなりません。筋立てだけを追っていくと、映像の細部を見落としてしまいますから、何回か全体を通して見た後、シークエンス（※）ごとに、ときには映像を一時停止して、じっくり鑑賞していきます。この時間は、映像が語りかけてくる「声なき声」に耳を傾ける、心躍るひととき。もともと映画

ファンであったところへ、松田春翠師匠の活弁を聴いて弁士を志した私。モノクロームの無声映画に目を凝らす時間は、なんともいえず幸せな時間なのです。

世界の喜劇王チャップリンの親友で、アメリカ無声映画の大スターだったダグラス・フェアバンクスの主演作に「バグダッドの盗賊」という大作があります。アラビアンナイト風なおとぎ話で、バグダッドのカリフ（王様）の姫に恋をした若き盗賊アーメッドが、冒険の果てにいついかに結ばれるという波乱万丈のスペクタクル娯楽作。一九二四年の作品ですが、当時最新の撮影技術を駆使し、カリ

フの宮殿の華麗なセットや、空飛ぶじゅうたんなど見どころいっぱい、快男児ダグラス・フェアバンクスの胸のすく活劇も堪能できます。

こういう映画の語り・活弁は、言葉も大時代的に、美辞麗句を連ね、リアリズムでないファンタジーの楽しさを表現するものが画面に合っていると考え、ラストシーンにはこんな言葉を考えてみました。主人公の盗賊が真人間になって悪者を倒し、姫とともに空飛ぶじゅうたんに乗り大空へと舞い上がる場面です。

「アーメッド、英雄にしてまことの花婿！」

轟く凱歌、祝福の声。

「いざ行かん、姫とともに！」

アーメッドと姫を乗せた魔法の絨毯は、陽に煌く宮殿上を旋回し、麗しき都を後に蒼穹へ――。

うか。憧れの女優、神秘的で威厳すら感じさせるグレタ・ガルボの無声映画には、こんな活弁を贈りたいです。

川霧がベールのように懐かしい小島を包み、細波ひそやかに恋のロンドを奏でる。露置ける草、名も無き花、目覚めたばかりの木々、鳥のさえずり。大気はまだ睡みの甘き夢に浸り、東の空に曙の色匂い立つ。

フェリシタス、琥珀の薔薇…。
（フェリシタスは、ガルボの代表作「肉體と悪魔」での役名です）

多彩な無声映画のひとつひとつに真摯に向き合い、映画の語りかけてくるものを聴き取り、画面に合った言葉・活弁を考える時間は愉しく、感受性が活性化されます。活弁は言葉を駆使する芸。映像を的確に表現する言葉の選択こそが弁士の器量なのです。

※ 物語の中の一連の場面のこと。

雲を越え、どこまでも、幸福と歡喜を乗せてどこまでも――。

やがて、緑濃き糸杉の陰、二人が手にするは愛の果実。その命は永久に春を寿ぐ。

さて、では所変わって日本の時代劇にはどんな言葉・活弁がふさわしいでしょうか。

私の大好きな大河内傳次郎が浪人と水戸黄門の二役を演じた「水戸黄門」（一九三五年）の剣戟場面に付けた活弁をご紹介します。

紫電一閃、静謐たるべき大江戸の夜は、忽ち怒号渦巻く修羅場と化した。

月影青く風寒く、地には草木、声も無し。静寂に鋭す剣戟の響き！

樹間より漏れる月光が刀身に影を刻み、風が殺気を孕んで浪人（大河内傳次郎）



澤登 翠
さわとみ 翠

東京都出身。「伝統話芸・活弁」の継承者として“活弁”を現代のエンターテイメントとして甦らせ、文化庁芸術祭優秀賞他数々の賞を受賞。日本を代表する弁士として、国内はもとよりフランス、アメリカなどの海外公演で高い評価を得ている。著書『活動弁士 世界を駆ける』（東京新聞出版局）がある。ホームページに、活弁のサンプルが掲載されている。

<http://sawatomidori.com/>

新しい学習指導要領に「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が新設され、古典の取扱いが具体的に示されました。それによって、現在の「読むこと」の領域における指導だけでなく、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の中でも古典を扱った指導が可能になりました。

また、小学校低学年から古典学習が取り入れられることになったため、中学校では指導にいつもの工夫が求められることになります。

本特集では、こうした改訂を踏まえて、学習指導要領の作成協力者である田中洋一先生に、中学校におけるこれからの古典指導のあり方をお話しいたします。

実践提案では、生徒の興味・関心を高める古典指導の実際を2例紹介します。

これからの古典指導

生徒の興味・関心を高めるヒント

インタビュー 田中洋一先生 (東京女子体育大学教授)

新しい学習指導要領における古典

古典の位置づけは どう変わるか

―まず、再確認の意味で、現行の学習指導要領における古典の取扱いについておうかがいします。

田中 現行の学習指導要領の指導事項には「古典」という言葉は出ていません。「計画の作成と内容の取扱い」の中で、「読むこと」に関する指導の留意事項として触れられているだけです。ですから、古典の指導とは「読むこと」の領域に限られていました。

ところが、「読むこと」の指導事項は、ほとんど現代文を想定して書かれており、古典の授業では、それを当てはめて指導していたわけです。

―新しい学習指導要領では、古典に関して

どのような改訂がされたのでしょうか。

田中 今回の改訂では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が新設されました。その中で、古典の指導を中心とした「A 伝統的な言語文化に関する事項」が設けられて、教える内容がはっきりしたのです。

現行では「読むこと」の中で指導してくださいということだったのが、今回の改訂では、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「読むこと」の各領域を通して指導するのだということが明記されたのが大きな違いです。今まで表には出ていなかった古典を、各領域で扱うことが可能になったわけです。

また、特定の事項をまとめて指導したり、繰り返し指導したりすることが必要な場合には、特にそれだけを取り上げて指導してもよいことになっています。

―具体的にはどんな指導が可能になったのでしょうか。

田中 これまでは古典の内容を理解するだけで終わっていたのが、「話すこと・聞くこと」の領域でやれるということになれば、たとえば劇化をするなど、表現としての音読・朗読活動もできます。(「実践提案1」P.10)

第三学年「書くこと」の言語活動例に、「A 関心のある事柄について批評する文章を書くこと」がありますが、たとえば徒然草や枕草子の中に表れている人間のものの見方・考え方を批評の対象とすることができます。さらに、作品の一部を引用して批評文を書くというような活動が可能になるのです。三年生の教科書教材「夏草」で、芭蕉にとつて旅とはどんな意味があったのかを考えさせたり、芭蕉の人生観を批評する文章を書かせたりするという活動もおもしろいですね。

また、第一学年「書くこと」の言語活動例にある「ア 関心のある芸術的な作品などについて、鑑賞したことを文章に書くこと」では、「芸術的な作品」として古典を選び、鑑賞文を書くという活動も考えられます。古典の随筆と現代のエッセイを比べて、季節感とか、人間のものの考え方だとかを比べてみるような文章を書かせるのもいいですね。〔実践提案2〕P.12〕

ですから、小学校の学習指導要領をしっかりと把握して、中学校でさらに独自の展開を考えていかなければなりません。小学校で既に学習してきているということの長所と短所をしっかりと見極めることが大切ですね。

小・中学校の連携

—小学校でも「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が盛り込まれ、系統的に古典に触れることになりました。

田中 現行の小学校学習指導要領では、高学年で文語調の文章に触れることを求めているだけです。ところが今回の改訂で、低学年から古典の指導に関する事項が入りました。子どもたちは量的にも、質的にも、かなり文語の文章に親しんでくることになります。

田中 洋一

1954年東京都新宿区生まれ。東京女子体育大学教授。都内公立中学校教諭を経て、東京都教育庁指導主事、中央教育審議会国語専門委員など歴任。平成20年告示学習指導要領中学校国語作成協力者。主な著書に『光村ライブラリー-中学校編』（光村図書）、『新学習指導要領詳解ハンドブック』（東洋館出版社）、『国語力を高める言語活動の新展開』（同）などがある。



表現活動や、随筆を書くときの材料にするなど、多様な出会わせ方を考えていかなければなりません。

中学校では小学校での既習事項をよく理解して、それをベースにして発展させるようなやり方が必要になってきます。今までのおりのやり方では、生徒の興味・関心を高めることが難しくなってくることを意識してほしいですね。

テレビドラマを楽しむように作品を味わわせたい

これからの古典指導

—今までとはずいぶん違った指導になりそうです。が、どういうところを工夫していけばいいのでしょうか。

田中 あまり難しく考えないでいいのではないかとも思います。新しい学習指導要領においても、中学校では「古典に親しむ」ということを主目的にしていることは従来どおりです。

教材の隅から隅まで理解させようと思わなくてもいいんです。現代文の指導でもいえることですが、特に中学校の古典学習は親しむことが目的であり、詳細に読解するものではありません。大体の筋がわかればいいのです。登場人物の生き方とか、心情とかを大きくとらえればいいのであって、一語一語をちゃんと訳していく必要はない。それこそ、テレビドラマを楽しむように作

品を味わわせればいいんです。そういうふうを考えればとても気楽に指導に入れるのではないのでしょうか。

「この作品では、ここだけは押さえてほしい」という焦点化をしておけば、後はゆったりした授業をすればいいんですよ。みんな感想・知識の交流をするなど、サラシ的な意識で古典の授業に臨むのもいいのではないかと思っています。その中で、作品のあらすじや登場人物の生き方・考え方のおもしろさをとらえ、教師自身が感動したことなどを生徒と共有してもらいたいですね。

あれもこれもと、いろいろな目標を盛り込んだり、教えたことを生徒が百パーセント覚えてくれることを期待したりする古典の指導はうまくいきません。繰り返しになります。学習指導要領に立ち戻れば、「古典に親しむ」というところが目的なのです。

田中 「文語のきまりや訓読の仕方を知り」「二年（ア）」という文言がありますから誤解されやすいのですが、これは決して文語文法を学ぶという意味ではありません。これらは歴史的仮名遣いの読み方を知ることや、漢文では返り点など、訓読するための基本的なルールを学ぶことが主で、音読・朗読をスムーズに行うための知識と考えていただいて結構です。あくまでも主眼は、古典のリズムを味わうところにあります。

生徒の生活の中には、ことわざをはじめ文語文がたくさんあふれています。小学校六年生の音楽の共通教材「われは海の子」では、日本中の子どもたちが必ず「煙たなびく苦屋こそ、我がなつかしき住家なれ」と歌っているのです。知識として係り結びを教わらなくても、「なんとなく力強く言っている感じがする」と子どもたちが言うそうです。それこそが日本人としての言語感

「古典を長く読ませる」という手法もおもしろい

覚なのではないでしょうか。文語文に親しむというのはまさにそういうことなのです。音読・朗読はそういう感性を育ててくれます。そして、そのために、「文語のきまりや訓読の仕方を知」るのです。

—生徒をひきつける指導のポイントを教えてください。

田中 まず、「話す・聞く」「書く」と絡めながら、生徒自身が自分で考えるところを活動を中心にして授業を組み立てることがいいのではないかと思います。登場人物や作者の生き方について考えるところか、現代の価値観と比べるとかの活動を前面に出していくということ。自分の考えをもつ、自分なりのイメージをもつことなどを大切にしたいですね。

それから、新しい学習指導要領にある「古典にはさまざまな種類の作品があることを知る」「一年（イ）」に注目してください。今までは古典教材といえば物語、随筆、短歌・俳句、漢詩などが中心でした。これ

多面性に触れることで、生徒の古典への親近感が増すのではないのでしょうか。

古典のおもしろさは

—生徒たちにとっての古典の魅力とは、どのようなことなのでしょうか。

田中 古典のおもしろさの一つは、千年も前の人たちが、自分たちと同じようなことを考えていた、同じように悩んでいた、喜んでいたりというのを実感できることにあるのではないのでしょうか。先ほど話した「長く読ませる」方法、または現代の文章と「比べて読む」といった方法をとることで、それがよく感じられるのではないかと思います。先人の息吹に触れて、「ここは違うけれどここは同じだ」などと感じながら、価値観、文化、風俗、習慣など、日本人の伝統的な姿を学んでいくのです。

わたしは、今回の学習指導要領の改訂をきっかけに、古典指導の既成概念を少し取り払ってみたいと提案したいのです。「古典の文章から飛び出せ」と訴えたい。たとえば、源義経はドラマ化されたものがありますよね。それとさっきの「弓流」の人物

からは教材の種類も工夫していく必要があります。たとえば、能、狂言、古典落語、歌舞伎も教材になりうる。ここでは映像メディアがクローズアップされてきますね。また、「国語デジタル教科書」などの提示型ソフトを使うことによって、当時の歴史背景や風俗を視覚的に理解させることもできます。

おもしろい手法の一つとして、教科書に載っている部分の前後を取りあげて、「古典を長く読ませる」という指導があります。内容は大体わかれば、場合によっては現代語訳で読ませてもいいという姿勢です。その一例として、わたしたちの研究会に所属する先生の実践に次のようなものがあります。

平家物語には、教科書に載っている「扇

古典の文章から飛び出せ

像と比べてみるなど、テレビドラマや映画で描かれた人物と古典に登場する人物を比べてみるのです。

古典という作品の枠の中だけで勝負するのではなく、自分たちの考え方や、現代の

的（那須与一）の後に「弓流」という段があるんです。激しい合戦の最中に義経が海に弓を落とします。周りの兵はみな「お捨てください」と言いますが、義経は敵の攻撃にさらされながらも必死に拾い上げて帰り、「強い弓なら構わないのだが、このひ弱い弓を敵が取って、これが源氏の大将の弓だと馬鹿にされるのが残念だから命がけでとったのだ」と言ったというエピソードです。

この部分までを読ませるのです。そのことで、「扇的」だけを読んでいたときの義経観が大きく変わってくるのです。

ただ長く読ませるだけ、ストーリーを把握するだけでもいいんです。複数のエピソードを読み重ねることで、生徒の感じ取り方は大きく変わってきます。登場人物の

文章・映像などと組み合わせれば、とても楽しい授業ができるはずです。そして、古典の魅力を生徒たちにしっかりと伝えていっていただきたいと思っています。

新しい学習指導要領における古典指導の体系

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

(1) 「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」及び「C読むこと」の指導を通して、次の事項について指導する。

ア 伝統的な言語文化に関する事項

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
小学校	(ア) 昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞いたり、発表し合ったりすること。	(ア) 易しい文語調の短歌や俳句について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりすること。 (イ) 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。	(ア) 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章について、内容の大体を知り、音読すること。 (イ) 古典について解説した文章を読み、昔の人のもの見方や感じ方を知ること。
中学校	第1学年 (ア) 文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れること。 (イ) 古典には様々な種類の作品があることを知る	第2学年 (ア) 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しむこと。 (イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。	第3学年 (ア) 歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむこと。 (イ) 古典の一節を引用するなどして、古典に関する簡単な文章を書くこと。

教科書を教える 教科書で教える

東京都港区立赤坂中学校教諭
甲斐利恵子



Q

先日、「クジラたちの声」の授業を終えたときでした。ひとりの生徒が「一回読んでわかることを、なんでまた授業で繰り返しやるんだろ」と、つまづきなげそうにつぶやきました。わたしは、ていねいに指導することでも理解も深まり、生徒が自分では気づかなかったおもしろさもわかるだろうと思っています。

しかし、ベテランの先生に相談すると、「あなたの授業は『教科書を教える』ことであって、『教科書で教える』観点が抜けている。だから生徒もつまづきなげているのだ」と言われました。

教科書の内容をしっかりと理解させるだけの授業ではいけないのでしょうか。

A

私も若いとき勉強会に行くたびに、「何が目標なのか」「どんな力をつけたいと考えているのか」と、何度でも先輩の先生方に聞かれました。なんでそんな細かいことを言うのか、この教科書の内容を理解させることが目標ではないのか、とその都度思っていました。

教師は、「何を」教え、「どんな力」を身につけさせたいかを考えて授業の組み立てを検討する必要があります。



ります。教科書の内容を理解させるほどと思わせるいわゆる「教科書を教える」ことは大切です。しかし、それと同じくらい、この教科書でどんな力をつけさせたいか——「教科書で教える」という発想が国語科という教科書では重要なのです。

私が行った「クジラたちの声」の授業を例に、「教科書で教える」「ことばはどんなことかを考えていきたい」と思っています。

まずは授業計画を形に

どんな授業にしようかと考えるとき、研究授業のときのような指導案を作る必要はありません。でも、指導案の項目にある「単元の目標」「単元設定の理由」「教材観」は考えておくといいたいです。時数に合わせて

た計画も立てなければなりません。私は自分の授業用のノートにそれぞれの項目に関することを必ず書くことにしています(資料1)。××程度のこと多いいですが、「この教材で何を教えるのが一番いいか、それはなぜか」と考え、それに答えるようにしています。また、「どんな活動がいいか、それはなぜか」という

ことも考えます。考えたことに言葉を与えていく作業はとても重要です。このようなことを意識せずに、内容を吟味するための教材研究に入ってしまうと、何を教えるための授業なのかという核になる部分を欠いたまま授業を進めることになるのです。

この「クジラたちの声」という文章は、中学生で初めての説明文教材

です。

つねつね私は「問いを立てる」と何が物事を考えるうえでとても重要だと考えていますので、これからの学習や生活のために「問いを立てる力」を、ぜひ早い時期につけておきたいと考えました。そういう観点で文章を読み直してみると、「問い」という概念を教えるに適した教材だとわかりました。

目標やつけたい力に合わせた練習や活動を考える

この単元では、Q&Aの形式で、「クジラたちの声」のパンフレットを作る活動を設定しました。しかし、「文章の中に問いを見つけなさい」と指示しても、生徒たちは、たいていはどっつすることか分からないはず。そこで究極の説明文といってもよい百科事典を使い、練習することにしました。

例えば、事典の説明をもとに、それが答えとなるような問いを立てる学習を考えました(次ページ資料2)。

ほんの十分ぐらいの学習ですが、

■単元名 クジラたちの声
—説明文を読み、説明文を書く—

■単元設定の理由
・1年最初の説明文
・説明文とは何か?
・説明文を読み解く際に、「問い」の視点で読む
・説明文には筆者の立てた「問い」があるはず
・説明文を読んだことが、説明文を書くこと(表現)に生きる
・わかりやすい説明文を書こうということで定着

■文章
・はっきりと見える「問い」もあるので、隠れた「問い」を見つけるにも都合がよい
・適度な長さで内容の難易度
・映像的にもパンフレット向き

■流れ
▼第1部「クジラたちの声」を読む
①説明文とは何か?—問いと答え(練習)
②「クジラたちの声」を読む
(1)「問い」を見つけ出す
(2)パンフレットを作る(Q&Aの形で)
▼第2部 わかりやすい説明文を書こう
①何について説明するか
②「問い」を生かして、構成を考える
③文章を書く 製本(文集) 400字で
④発表会・メッセージ
⑤学習のふりかえり

目標
◆文章の中に「問い」を見つける
◆「問い」を立てる
◆わかりやすい説明文を書く(「問い」を生かす)

文章構成の工夫を読む

—「未来をひらく微生物」(一年)を例に—

1 はじめに

説明的な文章(以下、「説明文」と呼ぶ)教材については、本シリーズの第四回で、「モアイは語る―地球の未来」を例に、「意見性の強い説明文」の取り扱いについて私見を述べました。今回は、「事実性の強い説明文」として標題の教材を取り上げてみたいと思います。

「事実性の強い説明文」においては、見たことや体験したこと、調査したことなどを、正確に、しかもわかりやすく伝えるために、表現上どのような工夫がされているのか、というような点を中心に学習を進めることになります。

けて、微生物の定義や微生物と私たち人間との一般的なかわり、とりわけ「発酵」という働きを人類が昔から利用してきたことが説明されています。

問題の第四段落では、この「発酵」が地球環境を支えるうえでも大きな役割を果たしている」と述べ、微生物と環境との関係に言及しています。本論部分のキーワードが「環境」であることは明白です。から、この「地球環境」という言葉の提示を根拠に、この段落から本論が始まると考える生徒が生まれる可能性があるのです。しかし、本論は、「環境問題、特に廃棄物処理する問題の解決策として、微生物の働きを利用しようとする試み」を二例紹介している部分であり、第四段落は、「発酵という微生物の働き」の例として、自然界における「地球の掃除」の働きを紹介しているのです。したがって、この段落は、序論のまとめ的役割を果たすとともに、微生物と環境との関係に視点を当てることによって、序論と本論とをつなぐ役割をも担っているとみることができるとは思います。

本論は、第五段落で問題を提起し、以後、前述の「解決策」を二例紹介してい

2 文章構成を精査する

この教材で筆者が取り上げているのは、私たち人間の生活における微生物の有効性・可能性であり、そのことは一読すれば容易に確認でき、極めてわかりやすい文章です。その「わかりやすさ」は何に起因するのでしょうか。用語や文体等の平易さなども確かに一因となっているでしょうが、本稿では、「文章の構成」に焦点を当てて考えてみたいと思います。

この教材は、十八の段落で構成されていますが、「学習」欄の「2」の課題からも明らかのように、大きく三つのまとめ(序論・本論・結論)に集約するこ

とができます。

文章構成を先に示せば、序論(①～④)、本論(⑤～⑱)、結論(⑲)となりますが、第四段落と第十七段落の位置づけについては、生徒の中に異論が生まれる可能性があります。それは、国語の授業としては願ってもないことであり、じっくり生徒たちに考えさせることが重要です。新しい学習指導要領でも「文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。」(C・第一学年・(1)・エ)という指導事項を示し、「自分の考え」をもたせる対象として「文章の構成」をも明記し、重視しているのです。

文章を詳しく見ていきましょう。序論では、第一段落から第三段落にか

るのですが、前半(⑥～⑫)では、「微生物を利用して環境問題を起こさない製品を作る例」が紹介されており、主として「生分解性プラスチック」について、その原料、分解の仕組み、製品化の状況等が述べられ、エタノールの生産についても触れています。

後半(⑬～⑲)では、「汚染された環境を微生物の力で元の状態に戻す例」が示され、二つの方法が紹介されています。一つは、「そこにもともと存在する微生物に栄養や酸素をあたえ、活発に活動してもらう」方法(⑭)、もう一つは、「廃棄物を分解する能力の高い微生物をほかの場所を増やしておいて、それを汚染地域に注入する」方法(⑮)です。第十六段落は後半部分のまとめ、第十七段落は本論全体のまとめ、という位置づけです。前述したように、第十七段落を文章全体の結論部分とみる生徒がいるかもしれませんが、生徒たちに考えを十分述べさせる点に配慮しつつ、この部分が「環境問題の解決」に関するまとめであることに気づかせていくことが重要です。

本論部分の構成を整理してみると、⑤本論全体の問題提起／⑥～⑱問題の解決

策(1)／⑫問題の解決策(1)補足／⑬～⑱問題の解決策(2)／⑲問題の解決策(2)まとめ／⑲本論全体のまとめ」ということになります。この構成の明快さが、文章のわかりやすさの大きな力になっているのです。

3 重視したいこと(補遺)

一つは、説明内容の具体的イメージ形成に大きな力となっている「例示」への着目と、「図版・写真」の活用です。紙幅の関係で詳述することができませんが、いずれも内容の具体的理解という観点から重視したい事柄です。

二つは、本シリーズの第四回でも強調した事柄ですが、「書く」への能力転移についてです。つまり、この教材の読みで学んだ「構成の工夫」を、わかりやすい「説明文を書く」という学習や活動の中で生かしてほしいということです。教科書には、次に「調べたことを正確に伝えよう」という「書く」学習が設定されています。「構成の工夫」を強く意識させて取り組ませるとよいでしょう。

さまざまな筆記具を 使おう

鳥取大学教授 住川英明

「軟」の利点を生かす

「毛筆」の対義語として、新興の筆記具の総称である「硬筆」の語が使われるようになったのは、明治から大正にかけての時期とみられています。このことは毛筆の威光の大きさと同時に、「硬」に対応する「軟」、つまり筆毛の柔軟さに毛筆のもっとも大きな特質が認められていたことを示しています。

戦後の書写教育は、この「硬」と「軟」の間を埋めようとしてさまざまな試みを重ねてきたように思います。その過程ではたして毛筆の「軟」は十分な役割を果たしてきたのか、「軟」への郷愁がむしろ「軟」の役割をあいまいなものにしてしまったのではないか—そんな危惧の念を抱いてしまうのは私だけでしょうか。

えられなければなりません。日常的なメモをとる場面では、謹直な楷書によらないのもちろんのこと、筆先の太いフェルトペンを使うはずもありません。また、揭示文を書くこうとするときに、草卒な行書によることはないし、鉛筆で書きつけるはずもないのです。筆記具の適切な選択は、中学校においても依然として大切な学習内容です。

中学二年生における実践から、さまざま

「毛筆」はすでに日常の筆記具ではないという明確な認識から、書写の授業づくりを始めなければなりません。先に使われていた毛筆と後で使われるようになった硬筆とを関連づけて学ぶというとならえ方から、毛筆による学びは硬筆による学びにどのように役立てることができるといえるかというところが、発想を転換する必要があります。

大学生に「書写の授業ではなぜ毛筆を使うのか」と問いかけてみると、真っ先に返ってくる意見の多くが「集中して活動できるから」「大きく書く」と気持ちがいいから」といった非日常性の利点に注目したものであることは、毛筆使用の現状を象徴しているとみてよいでしょう。

他にも「成果が出やすく、指導しやすいため」という授業者の立場を理解した意見や「毛筆の難しさを知り、硬筆の便

利さを感じることができるから」という学習者の痛みを感じさせる意見など、さまざまな回答が出てきますが、「文字の形、とくに細かな部分の形について意識し、理解することができるため」とか「腕全体で文字を書くことによって、書くときの動きを学ぶことができるため」といった「正解」は意外に少ないのです。点画の形の明瞭性、連筆のリズムとその連続性は、筆毛の柔軟さと強く結びついています。「軟」の利点を生かすことのできるフェルトペン、小筆、筆ペンなどを学習指導のなかで積極的に使っていきたいものと思います。

筆記具を使い分ける

新しい学習指導要領では、小学校高学年の事項に「目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと」の一項が入りました。児童自身がさまざまな筆記具の特徴を知り、活用できる能力を身につけさせようというわけです。

中学校では第二学年の事項に「目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書くこと」として、生活の場面における書体の使い分けが明記されましたが、このことは筆記具の使い分けと連動して考

使うことの楽しみ

国語科書写の学びの基底には、まず学習者自身が自分の書く文字に愛着をもつことが定置されなければなりません。手書き文字を見つめ続けようとする文字意識、またそれらを支えるに十分な文字感覚は、まず自己を認めようとする態度なしには身につけません。むしろ書写力は生活のための技能ですが、手書きされた文字には否応なく書者の「個」が表われることも認めないわけにはいきません。

使う目的を明らかにした上で、さまざまな筆記具の特徴を生かすことはもとより大切なことです。しかし、そういった情報のやりとりを念頭に置いた筆記具の運用能力を考える前に、さまざまな筆記具を使うこと、そのこと自体の楽しみを思い起こしましょう。筆記具に対する自分自身の得手不得手を知る、ただそれだけでも楽しいことではないでしょうか。さまざまな筆記具を使ってみるだけで、自分の書く文字に対する見方や感じ方が変化することは、私たちが経験的によく知っている事実です。

今月の詩

「江南春絶句」 杜牧

千里鶯啼緑映紅

千里鶯啼いて緑映に映す

水村山郭酒旗風

水村山郭 酒旗の風

南朝四百八十寺

南朝 四百八十寺

多少楼台煙雨中

多少の楼台 煙雨の中

江南の春は、鶯の啼きや、緑の映る色、水村の山郭、酒旗の風、南朝の寺、楼台、煙雨の中、に映す。

大好評
絶賛
発売中!

光村

国語デジタル教科書 中学校版



もっと、国語が好きになる。

光村「国語デジタル教科書」は、教科書をそのまま拡大することで、全員で同じ画面に注目しながら学習できる指導用ソフトウェアです。みんなで文章について意見交換をしたり、動画を見てなるほど! と思ったり。教科書を立体的に活用することで、確実に国語の力が向上します。

(本ソフトウェアの使用にあたっては、プロジェクタ等の拡大提示装置が必要となります。)

「話す・聞く」編 (1~3年収録)

学校フリーライセンス
税込 52,500円(本体50,000円)

古典編 (1~3年収録)

学校フリーライセンス
税込 52,500円(本体50,000円)

※「学校フリーライセンス」とは、校内でご利用になるパソコンの台数を制限しない契約です。

実践活用ガイド

ができました!

「国語デジタル教科書」を活用した実践事例をご紹介します。
体験版と併せていただいま無料配布中! 詳しくは下記ホームページまで!

光村図書出版株式会社
www.mitsumura-tosho.co.jp

〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
TEL.03-3493-5741 (デジタル教科書お客様窓口) FAX.03-3493-5483
E-mail: digital-info@mitsumura-tosho.co.jp

教科書編集部便り

遠いようで近い古典

高校生に古典に関するアンケートをとったところ、「『掃除』よりも苦手」という結果が出たことがあるそうです。光源氏の波乱に満ちた華麗な生涯も、高校生にとっては、校内の掃除より苦手ということになってしまいました。

では、中学校現場では?と、先生方いかがしてみると、やはりここでも、生徒たちの古典に対する苦手意識が見受けられました。その要因としては、語彙や仮名遣いがわからない、という表現上の問題や、時代背景がわからないために、自分とは関係のない別世界の話だと思ってしまうことが多いようでした。

次のような文章があります。

にくきもの 急ぐ事あるをりに来て、
ながこと 長言するまらうど

(にくらしいもの 急用のある時にやってきて、長話をする客)

思わず「ある、ある」とうなずいてしまうような状況ではないでしょうか。これは、生徒たちが「春はあけぼの」として学習する「枕草子」の中にある章段の一部です。言葉遣いは違うけれど、どうやら清少納言の時代の人々も、今の人々と同じように、「もう、この忙しいときに!」と憤ってしまう気持ちに変わりはなかったようです。そう考えると、遠かった古典の世界も少し近づいてくるのではないのでしょうか。

今号の特集にもあるように、中学校では古典に「親しむ」ことが学習の主眼となります。編集部では、生徒にとって親しみやすい様々な古典作品の提出を目指しています。そして、それらの作品をきっかけに、別の章段に読み広げたり、古典の一節を引用して文章を書いたりしていけるような教材化を検討し、編集を進めています。

お知らせ

平成22年度「言語教育振興財団」研究助成金一般公募

言語教育(国語教育・外国語教育等)の充実・発展を図るために、理論と実践の分野について優れた研究開発を行う団体または個人に対して助成します。

助成内容	①言語教育の内容・方法に関するもの(教育内容・方法部門) ②言語教育教材の質的向上に関するもの(教材部門) ③教育機器を利用した言語教育の在り方に関するもの(教育機器部門)
研究期間	平成22年4月~23年3月(原則1年間)
応募資格	言語教育(国語、英語、日本語等)に関して研究開発を行う教員及び教育開発を行う小・中・高等学校・大学・教育研究団体(学校の学年・教科単位を含む)
助成件数及び金額	助成件数は80件まで。助成金額は1件につき20万~50万円
応募方法・締め切り	・所定の申請用紙に記入の上、研究開発活動についての企画書または実施した実践報告書等の参考書類を添えて、平成21年12月25日(金)必着で、当財団事務局に郵送。 ・申請用紙を希望される方は、直接又は返信用封筒を同封の上、当財団事務局までお申し込みください。 ・この応募要項については、都道府県教育委員会等推薦の場合も同様に扱います。
決定・発表	当財団「選考委員会」にて選考を行い、選考結果を平成22年2月末までに通知。 平成22年3月末に銀行振り込みで交付します。
問い合わせ先	財団法人「言語教育振興財団」事務局 〒141-0021 東京都品川区上大崎2-19-9 TEL 03-3493-7340 FAX 03-3493-2174